

第134回 病態生化学セミナー

日時：令和1年7月9日（火曜日）午後6時00分～

場所：医学部講義棟1階 国際交流ラウンジ

演題：真核生物の翻訳制御における塩基配列モチーフの役割

Translational control by nucleotide motifs in eukaryotes

演者：浅野 桂 先生

カンザス州立大学生物学科 教授

網羅的解析技術の進歩により、真核生物が様々な刺激に応答して mRNA の翻訳パターンを調節していることが明らかになってきた。酵母のアミノ酸飢餓応答を例に、上流読み取り枠 (uORF) や特異的な塩基配列モチーフを持つ mRNA が選択的に翻訳されるメカニズムについて考察したい。

【浅野 桂】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp

博士課程選択必修科目：基礎医科学(D3)、

博士課程選択科目：細胞生物学I(D6)、老化I(D19)、臨床腫瘍学総論(D2)、理工医学のための生物材料学(D103)

医科学専攻(修士課程)選択科目：

腫瘍の発生・増殖とその制御 (M23)、理工医学のための生物材料学の基礎 (M33) を履修している学生は、できる限りこのセミナーに出席してください。